

令和5年度 農山漁村振興交付金(農福連携型) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(農福連携型のうち農福連携支援事業)及びの農山漁村発イノベーション整備事業(農福連携型)の事業について、農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2291号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した東北農政局管内の9地区(高松第三行政区ふるさと地域協議会ほか8地区)について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が7地区、良好と認められる地区が1地区、評価対象外が1地区との評価結果となった。

3. 各地区の評価結果

9件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東北	岩手県	花巻市	高松第三行政区ふるさと地域協議会			●	●	■				A	計画された取組は全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 前年度未達成であったさつまいも加工品の売上についても目標に近い実績を上げているとともに、さつまいもの栽培面積を拡大するなど意欲的に取り組まれている。さらに、子ども食堂や東日本大震災被災地との連携した地域振興を目指すなど、農福連携に留まらない今後の活動に期待したい。 なお、障害者の常時雇用者数は実績がゼロであるので、引き続き目標として掲げるのかどうか検討されたい。
東北	岩手県	花巻市	社会福祉法人悠和会			● ★	●	■ ◆				A	計画どおり取り組みが実施され、障害者の就労人数、売上、交流人口いずれも目標値をクリアすることができていることから、総合評価をAとした。専門家によるコンサルティングを受けることで、製造したワインの品質が向上し、各種コンクールで入賞するなど成果をあげていることは高く評価できる。 今後も、ワインの品質の高位平準化を図ることで安定的に収益を確保するとともに、もって障害者が活躍できる就労先の提供と、農地の有効活用が継続的になされることを期待したい。
東北	宮城県	角田市	社会福祉法人臥牛三敬会			● ★	●	■ ◆				A	計画された取組は全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 事業完了年度においても新たな作目を導入するなど農福連携に意欲的に取り組まれている。昨年の猛暑の影響で一部イベントが中止となった状況でも交流人口は目標を大きく上回っており、多岐に渡る活動が全体として安定した運営に繋がっていると考えられる。栽培年数が短く収穫に至っていないオリーブの今後の取組にも期待したい。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東北	宮城県	栗原市	有限会社キリシロ			● ★	● ★	■ ◆				A	計画された取組は全て実施され、売り上げ以外は目標を大きく上回っており総合評価はAとした。 雇用、就労人数は目標を大きく上回り、本事業により整備した施設が障害者の社会参加の場となっているだけでなく、工賃の向上にも繋がっている点が大いに評価できる。 目標達成が低調であった売上についても、対応方針が示されており、販売先等との連携も強化されていることから次年度以降の取組に期待したい。
東北	青森県	平川市	株式会社きりん				●	●	□			A	計画とおりに取組が実施されており、また目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 事業3年目で販売目標であった漆茶と漆苗の販売を前倒しで行い、売上目標を大きく上回ったことは大いに評価できる。ただし、令和5年度の猛暑の影響で漆苗の栽培計画に影響が出ているようなので対処を検討していただきたい。 メディアで取り上げられたことで販路が広がったようで、品質保持と納品責任を維持し、更なる顧客確保を期待したい。
東北	岩手県	八幡平市	株式会社HORSE&MUSH				● ★	●	□ ◇			A	計画された取組は全て実施され、目標も概ね達成されていることから総合評価はAとした。 目標のうち、売上げについては、加工商品の開発が遅れ年度末になったことで実績が低調となったが、商品のパッケージデザイン、品質確認、効率的な作業工程の確認を行うなど、加工・販売体制は整ったため、次年度に期待したい。 目標設定のなかった雇用について、他事業所の雇用者が派遣という形で参画し、地域での雇用の受け皿としての役割も果たしており評価できる。
東北	福島県	郡山市	一般社団法人 空				● ★	●	□ ◇			B	計画どおりに取組は概ね実施されたが、就労人数が目標の半分だったため総合評価はBとした。 立ち上げ間もない事業所でありながら症状の重い障害者を受け入れ農福連携に取り組んでおり、業務過多の様子が伺える。農福連携の知識も深く、現在も意欲的に学び、また取引先も増えつつあることを考慮し、農福連携の業務、経営が安定することに期待したい。
東北	青森県	六戸町	社会福祉法人 快適福祉協会					● ★	●	□ ◇		評価対象外	計画された取組はほぼ全て実施され、実施体制も構築されたが、令和5年度の追加採択地区であり、事業実施期間が2か月半であったため目標値の設定がなく、事業実績については評価対象外であるため総合評価も評価対象外とした。 令和5年度に実施した視察や研修、作成したマニュアルを活かし、令和6年度の目標達成に向けて取り組まれたい。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東北	秋田県	横手市	農事組合法人 みずほ					●	○ ☆	□ ◇		A	計画どおりに取組は実施されており、総合評価はAとした。 事業実施期間が12月下旬から3月中旬であったことから交流人口の人数が低調であった。 作成した作業マニュアルを活かし、農作物の選別と袋詰めを習得することで直売所の売上に繋がる。また開発した商品も好評であることから販路拡大と売上増が期待できる。 令和6年度は、交流人口の拡大のためには時期を逃さないよう考慮いただきたい。

(注1)「事業実施段階」の凡例：ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
 ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
 重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分： A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2291号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の3の規定に基づき、第三者機関である「東北農政局農山漁村振興交付金評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:中村 勝則(秋田県立大学准教授)
委員:横田 純子(特定非営利活動法人 素材広場 理事長)、渡辺 理絵(山形大学准教授)

【令和6年度評価委員会の開催概要】

評価委員会	
1	日 時 :令和6年7月26日(金) 10:00～12:00
2	場 所 :仙台合同庁舎A棟6階会議室
3	議事概要 (1)評価結果について (2)評価結果の活用について (3)その他
4	主な意見 ・特になし